

教員名

前川 明

企画名

第3回 神戸学生イノベーターズ・グランプリ

商品開発型
企業



企画・活動概要

第3回 神戸学生イノベーターズ・グランプリ:『「神戸プリン」をもっと地元の人に愛される商品にするには?』にゼミで参加し、課題解決に取り組む。

経緯・背景・目的

活動に取り組んだ結果、どのような成長(特に社会人基礎力が伸びるか)を得られるかを検証し、ゼミのテーマであるキャリア形成と能力開発の研究を深めるために本企画に参加する。

取り組む課題

メインテーマ:『「神戸プリン」をもっと地元の人に愛される商品にするには?』

サブテーマ:

1. 地元(神戸)の方に近隣への手土産や贈り物として利用していただくにはどのような取り組みやアプローチ方法があるか?
2. 地元(神戸)の方に自分用のデザートとして購入していただくにはどのような取り組みやアプローチ方法があるか?
3. 女性に神戸土産として利用していただくにはどのような取り組みやアプローチ方法があるか?

以上の課題について、取り組んだ。

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

活動成果:

- ①企業(社会人)に向けて提案するためには説得するための根拠(データ)が必要であると、昨年の社会共創プログラム(いいインターンプロジェクト)で学んだので、今回は根拠(データ)の用意は出来た点
- ②根拠になるデータは準備出来たが、それを活かして提案することが出来なかったため、どうすればデータを活用した提案が出来るのか反省点として、学生たちが意識出来ていた点
- ③自分たちのアイデアが必ずしも社会で活かせる内容でないということに気づき、謙虚な姿勢を持つことが出来た点(特に、しっかりと準備が必要である点に気づいたようである)
- ④研究演習Ⅱ(前川ゼミ)では卒業研究の研究計画書の作成と並行して、今回のI-1GPに参加したため、時間のやりくりや、優先順位の付け方、両方を最後までやり抜く力が身についたと担当教員から見て感じた。

特に、③は就職活動前に気づくことが出来たので、現在、謙虚な姿勢で早め早めの就職活動に取り組んでいる。今回の取り組みでは、入賞などの結果を得ることは出来なかったが、結果が出なかったからこそ、慢心せず、就職活動に取り組んでいる点は、結果論ではあるが、良い効果があったと考えている。

指導教員および関係者の紹介

指導教員:前川 明(まえかわ あきら) 流通科学大学 人間社会学部 人間健康学科 専任講師

略歴:株式会社東急ハンズ 店舗スタッフ、株式会社アンリ・シャルパンティエ(現 シュゼット)採用担当者、フリーランスのキャリアコンサルタントを経て、2013年よりフリーランスのキャリアコンサルタントに加えて、流通科学大学人間社会学部キャリア教育担当講師に就任。これまで、関西を中心に、約80大学で、大学生を対象としたキャリア教育・就職活動関連の授業、講座を5000コマ以上実施してきた。大学の授業・講座のほか、面接・会社説明会代行業務や人材紹介会社で転職希望者への面接指導(セミナー、模擬面接)も担当してきた。